

2代目キャンピングカー

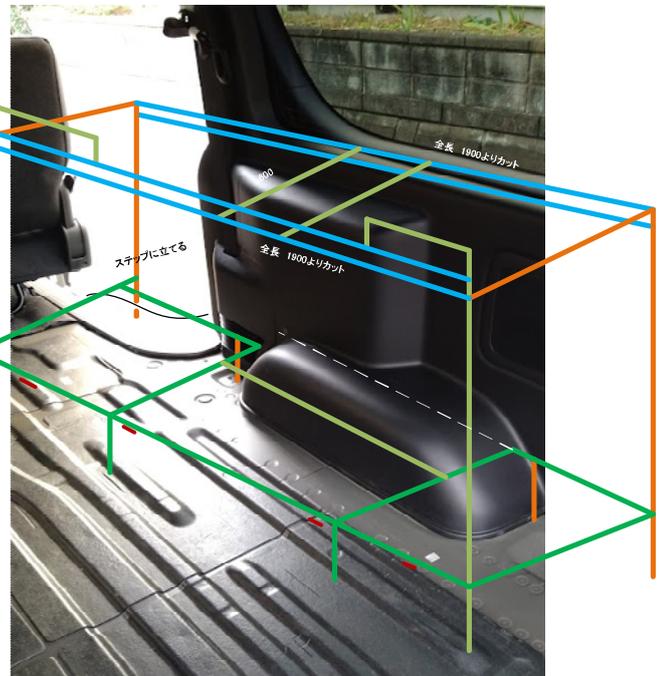
概要

- ・2017の初代以来、2代目のキャンピングカー作りの依頼。
- ・今回も新車のハイエースをキャンピングカーに仕立てるが、納車まで何ヶ月待たされたことか。
- ・オーナーが初代に搭載していたカウンターを残してくれたので、ベッド幅を最大化するため、カウンター幅を約100mm縮小して改造の上、再利用する計画
- ・その上で、2段ベッドにしたいとの要求。大人が3人楽に足を延ばして寝られることが条件。
- ・初代の図面を見てもタイヤハウスやシートベルト収納他、ボディの膨らみ寸法が分からず悩む。
- ・そこで2段ベッドを木製でなく、パイプフレーム構造にすることで、車が来てから現合で設計すればと考えたら、多少コストは嵩むが、一気にイメージが出来上がった。

工作期間 納車から 30 日

材料費 予算：初代と同じく 100,00 円

完成：2023年12月



↑ この G-Fun フレーム構造にたどり着けなかったら、とてもこの短期間で完成していなかった。最奥の柱は、車両のステップに立ってます。タイヤハウスもシートベルトハウスも簡単に避けて組み立てられ、フレームの位置もスライドさせるだけで思いのまま。



↑ 根太と断熱材を敷き詰めたところ この上に塗装した12mmの構造合板を乗せます。今回は重たいリアシートは残したままの作業とした。標準シートの最後部は少し残してあり（黄色テープの所）合板で押さえ込みます。まさかのタイヤハウスの高さ違いも見えます。



↑ 床面に合板を置き、G-Fun フレームを組んだ上に、ベッド板（18t）を置いてみた。1段目全長2025mm、2段目1935mmの長尺ベッドが作れます。（リアシートが一番前に移動し、リクライニングは1段まで）リアシートのヘッドレストは2段ベッドの枕止めにピッタリです。



↑ バックドア一部のスペアタイヤの取り出し操作は、ここを開いて操作します（丁番式フタ）



↑ 燃料タンクのメンテナンスのために点検口も設けてあります。折角なので切り抜いた板をそのままフタにした。最初のノコ入れに成功すれば簡単です。



↑ 仮セットアップ

床板は今回、塗装仕上げとし、幅を縮小改造の完了したカウンターを配置してみる。(右の初代よりベッドスペースは 100mm 広い)



↑ 前回 (初代) のリビングモード

カウンターの幅が大きいのが分かります。これをベッドモードにすると、3人目はリアシートに別途クッションベッドを置いて寝られますが、大人はきつい。



↑ ベッドの作り込み

硬めのチップウレタンに柔らかめのウレタンフォーム、合計 40mm 厚のクッションを包み込んだ裏面の様子です。タッカー針は布テープで隠してあるのでスッキリします。



↑ ベッド下の収納

隙間に引きヒモの見える二つのベッドは、ヒンジが付いており、持ち上げると収納としても使えます、但し深さが 200 しかない。タイヤハウスの左右高さ違いに気づいていれば、無駄な隙間は作らなかったのに残念でした。



↑ 大型のクーラボックス

クーラボックスは、上からと手前から (地上から) アクセスできます。(扉はダンパー付)
地上からの扉 (右写真) は、上フタが閉じている時はダンパーのピン穴に自動的に飛び込みます (初回機から改善)





↑ 小間物入れの引き出しとクツ入れ
急ブレーキでも飛び出しにくいソフトスライドレールを採用（初回機を幅狭に改造して流用）、靴収納は2段設けてあります。



↑ クーラボックスの真下も小さな収納
これも高さ寸法を詰めた初回機の流用扉
白いレールは、通路ベッドの乗る肉厚の角パイプを採用。通路なので横棧は設けずベッドを乗せます。



↑ 釣竿収納
内部が暗いので、夜間でも使えるように左手下にLED照明スイッチを設けてあります。



↑ ベッド下の使い方は色々
スキー板など長物など、固定したければフレームの足に縛りつけるなど・・・。

雑感

・ハイエースを自作キャンピングカーにしている人たちの中で、G-Fun フレームを使っている人は結構見かけたが、ハイエースに2段ベッドを構築している例が見つからず、凹凸のある車両側面に計画するのは、部品のリストアップが面倒な精かもしれないと思った。（図面作図サービスからリストできるサービスもあるが、そこを考えるのが面白そうなので、自前で部品のリストアップしてみたが、やはり一部設計変更を余儀なくされた）

・G-Fun なるもの見たことも聞いたこともなかったし、アルミパイプだし、資料を参考に強度計算してみると、自分の設計構造でも、かなり頑丈に構築できることが分かり、木材で作るより自由度が高いので一押しでオーナーに採用紹介したものです。

・2度目のキャンピングカーなので、工程の経験やミスった記憶などがあるのは、やはり役立ちます。毎週末は趣味の活動に取られるので、今回は2ヶ月弱かかるのではとみていたが、天気にも恵まれ納車されてから約1ヶ月で完成できた。

・今回成功だったのは、超重たいリアシートを降ろさずにできる作業工程を考えたことが一番の効果だったかも。

・短い人生で、まさか2度もこんな大仕事を与えてくれた〇〇パパには感謝しかないが、きつい仕事だったが久しぶりに充実したひと時だったよ。納車まで長かったので眠れない夜もあったけどね。